

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)に関する説明書

ID. 氏名

検査日 20 年 月 日() 午前・午後 時 分

検査当日は、予約時間の10分前までに医院にお越しください。

上部消化管(食道・胃・十二指腸)内視鏡検査についてのご説明

- ・内視鏡を口から挿入して、食道・胃・十二指腸を観察します。
- ・必要な場合、病変の一部を採取し(生検)、病理組織学的検査を行います。
- ・検査時間は約5～10分程度です。
- ・検査の偶発症として出血、穿孔、咽頭麻酔や鎮静剤によるショックなどがあげられます。
日本消化器内視鏡学会の報告では、年から2012年の5年間における偶発症発生頻度は全国集計で0.073%でした。万が一偶発症が発生した場合は、速やかに対応致します。
- ・状況によっては高度医療機関に緊急搬送します。
- ・検査で色素を使う場合がありますが後で尿や便に色がつくことがあります、心配ありません。
- ・検査当日は、ご自身での車・バイク・自転車などの運転はなるべく避けてください。
- ・消化管の動きを抑える目的で鎮痙剤を注射(筋肉注射か静脈注射)することがあります。
一時的に動悸や口渇が出たり、目が見えづらくなったりすることがあります。使用する場合は必ず説明しますが、過去に使用して体調悪くなったことがある方はお申し出ください。

<前日>午後9時以降は食べないでください。水・お茶は飲んでも構いません。

<当日>朝から禁食です。水・お茶は飲んでも構いませんが、牛乳や果肉入りジュースは飲まないでください。

常備薬の注意

普段飲んでいる朝の薬は、飲まずにいらしてください。検査が終わって、飲水できるようになってから、すべての服用を再開してください。

ただし、病気などによって中止できない薬*がありますので、予約のときに確認してください。

*検査当日朝も内服する薬()

鎮静剤使用について

上部消化管内視鏡検査は覚醒のままで検査は十分可能ですが、検査中の苦痛や不安を和らげるため、鎮静剤の使用が可能です。ただし、副作用で脱力や意識低下の危険性があります。検査中に血圧低下や呼吸抑制、アレルギーなどの副作用を発症し、生命に危険が及ぶこともあります。

検査終了後、安全のため必ず約30分から1時間休んでいただきますが、それでも脱力や鎮静効果の持続のため、大きな事故を起こす危険性があります。帰宅の際は自動車、バイク、自転車の運転を絶対に禁止しています。ご自身の運転は、検査翌日まで禁止です。

以上の点をご理解いただき、鎮静剤を希望される方は、同意書にサインをお願いします。

その他内服薬でご不明な点は、スタッフにご確認ください。

具合が悪くなったり、わからないことがある場合は、電話でご連絡ください。

みはら医院 院長 美原静香
042-746-7280

説明を受けた日付とサイン(自筆)



上部消化管内視鏡検査同意書

みはら医院 院長 殿

私は今回の説明内容を十分理解し、上記処置・手術を受けることに同意します。
 なお、上記医療行為において予測されない事態が生じた場合は、必要な処置をとることを承諾いたします。

年 月 日

患者氏名(自筆) _____

鎮静剤を希望する場合

検査中に鎮静剤の使用を希望します。鎮静剤の副作用については十分理解しました。
 使用によって起こる予期せぬ偶発症などについての責任は一切医院にはかけません。
 検査後は30分から1時間ほどの安静を保ち、自らの運転では帰宅しません。

年 月 日

患者氏名(自筆) _____



胃カメラ検査 問診票

アルコール綿でかぶれたことがありますか？ はい・いいえ

麻酔薬(キシロカイン)で気分が悪くなったことがありますか？ はい・いいえ

今までに胃カメラを受けたことがありますか？ はい・いいえ

ピロリ菌の除菌治療を受けたことがありますか？ はい・いいえ
 いつ頃ですか？ ()

腹部の手術を受けたことがありますか？ はい・いいえ
 年(歳)頃 病名

現在飲んでいる薬はありますか？ はい・いいえ

血液をサラサラにする薬(抗凝固薬)を飲んでいますか？ はい・いいえ

薬品名:ワーファリン・バイアスピリン・プラビックス・パナルジン・エパデール
 オパルモン(リマプロストアルファデクス)・その他()

その他不明な点がありましたら、ご記入ください。
 ()



みはら医院 スタッフ確認サイン()

検査2週間前に感染症(かぜ症状、発熱等)の体調不良が生じた場合は、検査日前にその旨のご連絡をお願い致します。